



# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場取引所 東大

上場会社名 丸大食品株式会社  
 コード番号 2288 URL <http://www.marudai.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 百済 徳男  
 (氏名) 加藤 伸佳

TEL 072-661-2518

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	161,662	1.9	4,459	△32.3	4,442	△33.4	2,682	△51.5
24年3月期第3四半期	158,684	1.9	6,586	△2.1	6,674	△0.9	5,530	0.2

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 2,718百万円 (△51.7%) 24年3月期第3四半期 5,627百万円 (△3.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	20.65	—
24年3月期第3四半期	42.57	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	131,914	69,838	51.7	525.36
24年3月期	124,357	68,309	53.7	514.06

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 68,247百万円 24年3月期 66,779百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	9.00	9.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	2.9	4,450	△24.7	4,600	△24.9	2,100	△46.6	16.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	132,527,909 株	24年3月期	132,527,909 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,622,989 株	24年3月期	2,621,130 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	129,905,959 株	24年3月期3Q	129,908,146 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要が景気を下支えするなかで、政権交代による経済政策への期待感から当累計期間後半に株価の回復や為替の円高修正が進みましたが、海外経済減速などによる企業収益の下振れ、消費者マインドの悪化による個人消費の弱含みなどにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

加工食品事業におきましては、お客様の節約志向やデフレ傾向が続くなか、市場競争激化による商品の低価格化などから依然として厳しい環境が続いております。また、食肉事業につきましても、国産牛肉相場の緩やかな回復や輸入牛肉のマーケットの伸長などがみられるものの、為替等の影響による仕入コスト上昇を受け依然として厳しい環境が続いています。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に信頼される「より安全で安心」な食品の提供に努め、「お客様第一」「コンプライアンスの徹底」「安全性と品質の追求」を基本方針とし、「多角化戦略の推進」「グループ経営の強化」「商品開発力の強化」などの諸施策を軸に企業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比1.9%増の1,616億62百万円、営業利益は同32.3%減の44億59百万円、経常利益は同33.4%減の44億42百万円、四半期純利益は、製品自主回収関連費用や投資有価証券評価損を計上したことなどもあり、同51.5%減の26億82百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次の通りであります。

## 【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益(営業利益)		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	117,764	117,769	4 (0.0%)	6,101	4,243	△ 1,858 (△30.5%)
食肉事業	40,622	43,604	2,981 (7.3%)	355	73	△ 281 (△79.2%)
その他	297	288	△ 8 (△3.0%)	129	142	12 (9.6%)
合計	158,684	161,662	2,977 (1.9%)	6,586	4,459	△ 2,126 (△32.3%)

## 【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	71,960	70,512	△ 1,447 (△2.0%)
調理・加工食品	45,804	47,256	1,452 (3.2%)

## ①加工食品事業

ハム・ソーセージ部門は、2012年モンドセレクション食品部門において4度目の最高金賞を受賞しました「燻製屋熟成ウインナー」などの主力商品の売上拡大を図るとともに、歳暮ギフトにつきましても、モンドセレクション最高金賞を受賞しました主力ブランドの「王覇」「煌彩」シリーズや、新商品の「北の国から」など豊富なラインナップを取り揃えて積極的な拡販を図りました。また、海藻の旨みを含んだこだわりの「淡路島の藻塩」をロースハムやポークウインナーなどに使用した「藻塩仕立てシリーズ」や、かわいいキャラクターがプリントされた「リラックマウインナー」をリニューアルするなど売上伸長に注力いたしましたが、競合他社との販売競争の激化などの影響により、当部門の売上高は、前年同期比2.0%の減収となりました。

調理・加工食品部門は、レトルトカレー商品などが苦戦しましたが、好評を頂いております韓国風チゲ「スンドゥブシリーズ」が売上を伸ばしたほか、本格的なドリアが自宅で手軽に楽しめる「チキンドリアソース」などの新商品の投入を積極的に努めたことなどにより、当部門の売上高は、前年同期比3.2%の増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高はほぼ前年同期並みの1,177億69百万円となりましたが、主力であるハム・ソーセージ部門の減収などから、営業利益は前年同期比30.5%減の42億43百万円となりました。

## ②食肉事業

牛肉につきましては、お客様の低価格志向を背景とした価格競争激化など厳しい環境が続いていますが、国産牛肉は、震災以降のセシウム問題から緩やかな回復傾向にあり、また、米国産牛肉の拡販に積極的に取り組みました結果、売上高は堅調に推移いたしました。豚肉につきましては、輸入豚肉の売上拡大に努めましたものの、国産豚肉の相場低迷から非常に厳しい状況が続きました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比7.3%増の436億4百万円となりましたが、営業利益は、国産豚肉の収益性の悪化などから前年同期比79.2%減の73百万円となりました。

## ③その他事業

その他事業の売上高は前年同期比3.0%減の2億88百万円、営業利益は前年同期比9.6%増の1億42百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減
総資産	124,357	131,914	7,556
負債	56,048	62,075	6,026
純資産	68,309	69,838	1,529
自己資本比率	53.7%	51.7%	△2.0%

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が11億83百万円減少しましたが、年末商戦による季節要因により受取手形及び売掛金が92億79百万円増加したほか、商品及び製品が16億88百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ75億56百万円増加し、1,319億14百万円となりました。

負債は、季節要因により支払手形及び買掛金が44億87百万円増加したほか、有利子負債が15億19百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ60億26百万円増加し、620億75百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当金11億69百万円の支払いがありましたが、四半期純利益26億82百万円の計上などから、前連結会計年度末に比べ15億29百万円増加し、698億38百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.0%減少し、51.7%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,775	2,843	68
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,024	△4,386	△362
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,071	309	3,380
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,261	11,061	1,800

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権やたな卸資産の増加などによる減少要因がありましたが、仕入債務の増加や税金等調整前四半期純利益の計上などから、28億43百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質の安定のための固定資産の取得による支出などから、43億86百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどによる減少要因がありましたが、有利子負債の増加により、3億9百万円増加しました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末から12億33百万円減少し、110億61百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成24年11月12日に発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,482	11,298
受取手形及び売掛金	25,234	34,514
商品及び製品	5,901	7,589
仕掛品	688	569
原材料及び貯蔵品	7,464	7,049
繰延税金資産	1,782	1,037
その他	844	788
貸倒引当金	△60	△80
流動資産合計	54,338	62,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	46,911	46,648
減価償却累計額	△31,046	△31,316
建物及び構築物(純額)	15,865	15,331
機械装置及び運搬具	44,746	48,321
減価償却累計額	△35,775	△37,228
機械装置及び運搬具(純額)	8,970	11,092
工具、器具及び備品	4,980	4,814
減価償却累計額	△3,402	△3,323
工具、器具及び備品(純額)	1,577	1,491
土地	19,052	18,841
リース資産	8,078	7,133
減価償却累計額	△3,831	△3,682
リース資産(純額)	4,246	3,451
建設仮勘定	1,385	598
有形固定資産合計	51,098	50,807
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	9,323	9,109
関係会社株式	120	91
長期貸付金	178	182
繰延税金資産	60	266
その他	7,734	7,412
貸倒引当金	△425	△433
投資その他の資産合計	16,991	16,628
固定資産合計	70,018	69,146
資産合計	124,357	131,914



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,817	24,305
短期借入金	8,446	13,348
1年内返済予定の長期借入金	4,479	3,103
リース債務	1,076	861
未払金	6,627	7,789
未払法人税等	357	46
未払消費税等	352	256
賞与引当金	1,115	369
その他	1,835	2,214
流動負債合計	44,108	52,295
固定負債		
長期借入金	5,387	4,167
リース債務	3,272	2,702
繰延税金負債	1,884	1,488
退職給付引当金	854	863
その他	540	557
固定負債合計	11,939	9,779
負債合計	56,048	62,075
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	21,685	21,685
利益剰余金	37,171	38,684
自己株式	△697	△698
株主資本合計	64,875	66,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,001	1,986
繰延ヘッジ損益	17	—
為替換算調整勘定	△114	△127
その他の包括利益累計額合計	1,904	1,858
少数株主持分	1,529	1,591
純資産合計	68,309	69,838
負債純資産合計	124,357	131,914

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	158,684	161,662
売上原価	116,602	120,611
売上総利益	42,082	41,050
販売費及び一般管理費	35,496	36,591
営業利益	6,586	4,459
営業外収益		
受取利息	20	20
受取配当金	125	146
不動産賃貸料	131	136
その他	282	265
営業外収益合計	560	568
営業外費用		
支払利息	299	248
その他	173	337
営業外費用合計	472	585
経常利益	6,674	4,442
特別利益		
固定資産処分益	67	43
負ののれん発生益	19	—
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	87	44
特別損失		
固定資産処分損	173	192
減損損失	195	150
製品自主回収関連費用	—	213
投資有価証券評価損	1	199
たな卸資産処分損	—	36
特別損失合計	369	792
税金等調整前四半期純利益	6,391	3,694
法人税、住民税及び事業税	513	763
法人税等調整額	56	166
法人税等合計	569	930
少数株主損益調整前四半期純利益	5,821	2,764
少数株主利益	291	81
四半期純利益	5,530	2,682

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,821	2,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175	△14
繰延ヘッジ損益	△17	△17
為替換算調整勘定	△1	△15
持分法適用会社に対する持分相当額	—	2
その他の包括利益合計	△194	△46
四半期包括利益	5,627	2,718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,336	2,636
少数株主に係る四半期包括利益	291	81

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,391	3,694
減価償却費	4,455	4,346
減損損失	195	150
貸倒引当金の増減額(△は減少)	69	28
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△610	165
受取利息及び受取配当金	△146	△167
支払利息	299	248
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1
投資有価証券評価損益(△は益)	1	199
固定資産処分損益(△は益)	105	148
売上債権の増減額(△は増加)	△14,187	△9,276
たな卸資産の増減額(△は増加)	△29	△1,289
仕入債務の増減額(△は減少)	5,116	4,487
未払消費税等の増減額(△は減少)	73	△95
その他	2,197	672
小計	3,931	3,312
利息及び配当金の受取額	268	307
利息の支払額	△272	△239
法人税等の支払額	△1,151	△536
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,775	2,843
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△24	△31
投資有価証券の売却による収入	—	19
固定資産の取得による支出	△3,658	△4,601
固定資産の売却による収入	317	246
関係会社株式の取得による支出	△130	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△473	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	5	—
その他	△60	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,024	△4,386
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,231	4,900
長期借入れによる収入	500	224
長期借入金の返済による支出	△3,763	△2,821
リース債務の返済による支出	△994	△805
配当金の支払額	△1,039	△1,169
その他	△5	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,071	309
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,321	△1,233
現金及び現金同等物の期首残高	13,582	12,295
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,261	11,061

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	117,764	40,622	158,387	297	158,684	—	158,684
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	891	891	△891	—
計	117,764	40,622	158,387	1,188	159,576	△891	158,684
セグメント利益	6,101	355	6,456	129	6,586	—	6,586

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては195百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「加工食品事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間より、新たに(株)マルシンフーズの株式を取得したことに伴い、のれんを無形固定資産に含めて計上しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては902百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「加工食品事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間より、新たに取得した(有)紀の梅食品を連結の範囲に含めましたことや、連結子会社である(株)熊野路の株式を取得しましたことから、負ののれん発生益(特別利益)を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては19百万円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	117,769	43,604	161,373	288	161,662	—	161,662
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	920	920	△920	—
計	117,769	43,604	161,373	1,209	162,583	△920	161,662
セグメント利益	4,243	73	4,317	142	4,459	—	4,459

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては150百万円であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。